

## 『舟を編む』を見て

最近見たテレビ番組で一番心に残ったのは、NHKのBSプレミアム『舟を編む』でした。このドラマは、雑誌の編集部から転勤となった主人公が、まわりの人たちに支えられながら、辞書の編集に目覚めていくという内容で、前向きな仕事への取組、仕事を通しての人としての生き方を考えさせられる番組でした。内容が「言葉」を伝える辞書のことなので、言葉の大切さ、言葉を通しての人間関係づくりについて何度も考えさせられました。沢山の箴言(金言)がありました。

「辞書は言葉の海を渡る舟だ」「何かに生涯を捧げるというのは、どこか浮き世離れするということかもしれません」

「(辞書は) そうですね、人が人と理解しあうための助けとなるものです」

4月の初め、今までの人生の中で大変お世話になった先達が亡くなりました。がんの告知を受けて、9ヶ月目の死。私も沢山の人を見送ってきましたが、この先達の死には心が萎えました。仕事も旅行も一緒に行きました。やんちゃで元気な先達でした。いつも私たちの前を走っていてくださいました。身近な方を亡くし、人の一生には限りがあること、人生の持ち時間は思ったほど長くないことをあらためて教えられました。

P T AやC S (学校運営協議会) など学校をサポートしたり、共同で運営したりする組織の立ち上げの時期となっています。学校づくり、地域づくりを共に考えていきたいと思えます。「あれもこれもではなく、このことだけは」一点集中全面展開の方針で各学校のエンジンとなってください。

今年も各学校の合言葉を確認していただきました。

東小	みんな笑顔の東「笑」学校
西小	一步前へ (150+1)
南小	南っ子、にじいろきらきら日本一
北小	「優しさ」と明るい「声」があふれる学校
神守小	耳で聴く 目で聴く 心で聴く 神守っ子
蛭間小	なかよし、蛭間小
高台寺小	心ひとつ
神島田小	笑顔いっぱい、夢いっぱい
天王中	進んで挨拶
藤浪中	プラス ONE ～あいさつ日本一・生徒主体・チーム藤浪～
神守中	P r i d e (誇り) 神守
暁中	「時を守り、場を清め、礼を正す」「凡事徹底」

春霞伊吹へ誘う道しるべ

令和6年5月8日  
津島市教育委員会  
教育長 浅井厚視